

市民活動・ボランティアを始めたい人にも…

市民活動・ボランティア ニュース

2005年 8月号

平成17年7月25日発行
通巻80号

MIE NON-PROFIT ORGANIZATION & VOLUNTEER NEWS



◆発行◆

514-0009
津市羽所町700番地
アスト津3階
みえ市民活動ボランティアセンター
Tel.059-222-5981
Fax.059-222-5971
E-mail seiknpo@pref.mie.jp
NPO室のホームページ
<http://www1.mienpo.net/npot>
三重県のホームページ
<http://www.pref.mie.jp>

市民活動ニュースはこちらにあります!

【地域の市民活動センター等】津市市民活動センター(津市大門7-15 津センターパレス3階)/オールウェイズ(津センターパレス1階)/津中央郵便局ボランティアコーナー(津市中央)/有)デザインオフィス荻野(津市大谷町301-1)/市民活動情報ネットワークすずかのぶどう(鈴鹿市白子駅前18-15)/南勢町市民活動室連絡協議会(南勢町五ヶ所浦3917町民文化会館内)/特定非営利活動法人伊勢志摩NPOネットワークの会(伊勢市一色町2)/鳥羽NPOネットワークセンター・結(鳥羽市鳥羽1-3-8)/特定非営利活動法人みえきた市民活動センター(桑名市田町33)/四日市市民活動センター(四日市市蔵町4-17)/寺子屋プロジェクト(四日市市天ヶ須賀4丁目9-19)/ウリアム テルス・アップル まちづくりセンター(伊賀市上野福町3317)/みえ市民活動ボランティアセンター(津市羽所町700アスト津3階)/伊賀市中央公民館/伊賀市立図書館/上野青年会議所/名張市立図書館/名張青年会議所/皇学館大学名張キャンパス/名張市総合福祉センター/エコリソート赤目の森(名張市上三谷268-1)/明和町市民活動サポートセンター(明和町馬之上944-5)/松阪大学(松阪市久保町1846)/松阪市市民活動センター(松阪市日野町788)/名張市市民活動センター(名張市夏見2812)/松阪まちづくりセンター『まちなか松阪(寸庵)』(松阪市本町2217)/伊賀市市民活動支援センター(伊賀市馬場128番地)/くらしの情報センター同夢(名張市夏見251-1/パークシティなび)

【地域の社会福祉協議会】県内49の市町村社会福祉協議会
【金融機関】百五銀行各店/三重銀行各店/東海労働金庫各店

【行政機関等】三重県庁県民ホール(津市広明町13)/三重県地域機関(各県民局(桑名、四日市、鈴鹿、津、久居、松阪、南勢志摩、伊賀、紀北、紀南)/三重県民サービスセンター(情報公開窓口)/三重県総合医療センター/三重県立一志病院/三重県立志摩病院/三重県立こころの医療センター/宮古歴史博物館/三重県立博物館/三重県立図書館/三重県生涯学習センター/三重県男女共同参画センター「フレンドみえ」/三重県人権センター/三重県身体障害者総合福祉センター/三重県環境学習情報センター/各市町村役場

「新しい時代の公」パートナー会議委員の募集

三重県では、みんなで社会を担う「新しい時代の公」の実現を目指しており、多様な主体が公の活動を行うための仕組みづくりなどについて検討する会議の委員10名のうち3名を募集します。今年度は「資金のあり方、参画・情報共有のしくみ」を主なテーマとして検討を行います。なお、会議は原則として平日の昼間に計4回程度の開催を予定し、任期は平成18年3月末まで。委員の出席に際し、規定の旅費等は県から支給します。

●応募締切/8月19日(金) 必着

●応募方法/「あなたにとって地域とは」をテーマとしたレポート(800字以内)を添えて、住所、氏名、年齢、性別、所属団体、電話番号を記入のこと。郵送、Fax、E-mailいずれも可能です。

●応募・問い合わせ先/514-8570 津市広明町13番地 三重県企画開発室 Tel.059-224-2644 Fax.059-224-2075 E-mail kikakuk@pref.mie.jp

ホームページ <http://www/pref.mie.jp/KIKAKUK/HP/ooyake/index.htm>

NPO(ボランティア・市民活動団体等)からの協働事業提案を募集します!

「新しい時代の公」実践提案事業として、NPOが自ら企画して県に提案し、相互に議論・検討し、協働できる事業を構築・推進する事業(3件程度採用予定)の募集を行います。これは、NPO室が2年間試行した結果をふまえて、「新しい時代の公」を多様な主体で担っていく「市民発」の仕組みを推進しようとするものです。また、この提案を選考する市民審査員を3名募集します。この市民審査員の方は、この事業選考後もサポート委員として事業構築に係わってまいります。(募集の詳細は下記をご覧ください)。

●提案事業を募集/(1)三重県との「協働事業提案」であること。(2)「協働事業提案」とは、NPOと県が協働で取り組む事業の内容について、NPOが企画した協働事業を行政に提案するものです。(3)協働事業提案のテーマは、自由テーマと県庁から募集したテーマがあります。※詳しくは、ホームページ参照。

●受付期間/8月8日(月)~9月2日(金)(郵送の場合当日消印有効)

「協働事業提案書」及び関係書類を、下記へ直接、または郵送、Fax、E-mailで提出してください。(提案書様式は、アスト津3階NPO室他、各県民局生活環境森林部にあります。なお、NPO室のホームページからダウンロードが可能です) ●説明会/8月8日(月)午後7時~ アスト津3階

●応募資格/以下の要件に該当する団体であることが必要です。

(1)三重県内で活動しているNPOであること。法人格の有無は問いません。(2)活動分野は特に限定しませんが、宗教活動や政治活動を主たる活動目的とした団体ではないこと、また、特定の公職者(候補者を含む)または政党を推薦、支持、反対することを目的とした団体ではないこととします。

●企画の審査/NPOから提出された協働事業提案企画書と公開のプレゼンテーションにより、選考委員会が審査します。 ●市民審査員の募集/3名募集

『「新しい時代の公」を担う市民セクターの役割』について800字程度で8月19日(金)までにNPO室まで意見を提出してください。(様式自由、メール可)

●問い合わせ先・提案書提出先/514-0009 津市羽所町700 アスト津3階三重県生活部NPO室

Tel.059-222-5981 Fax.059-222-5971 E-mail seiknpo@pref.mie.jp

ホームページ <http://www1.mienpo.net/npot/>

【特定非営利活動法人認証申請団体と成立団体のお知らせ】

特定非営利活動法人(NPO法人)申請は10団体ありました。引き続き、認証申請を受け付けています。申請のあった団体と成立した法人を紹介します。なお、関係書類は三重県生活部NPO室及び各県民局生活環境森林部に備え置いてあります。

●認証申請団体 (1)名称(2)代表者氏名(3)法人事務所の所在地

(1)共同連三重(2)常住良信(3)津市中川原399番1号/(1)みすぎ杉の実福祉会(2)山口倍生(3)一志郡美杉村奥津939番地/(1)森林の風(2)奥田義巳(3)四日市市三滝台四丁目15番地7/(1)チャレンジスクール三重(2)玉村典久(3)松阪市日野町593番地オガワビル2F/(1)ひのきの会(2)氏原清重(3)北牟婁郡海山町大字船津2565番地1/(1)フレンドハウス愛(2)内田雅代(3)員弁郡東市町笹尾西2丁目20番2/(1)一番ぼし(2)今井静香(3)一志郡美杉村八知310番地/(1)伊賀・鳥ヶ原おかみさんの会(2)穂積澄子(3)伊賀市鳥ヶ原5844番地/(1)青都鳥羽市民の会(2)青木 茂(3)鳥羽市大明東町16番地/(1)NPO法人ポラリス(2)皇甫 潤(3)一志郡一志町大字八八471番地1 (平成17年6月15日~平成17年7月14日申請分)

●成立した特定非営利活動法人(登記年月日)

特定非営利活動法人 NPO法人ウエルの輪(平成17年6月17日)/特定非営利活動法人 赤目四十八滝溪谷保勝会(平成17年6月1日)/特定非営利活動法人 三重乳がん検診ネットワーク(平成17年6月15日)/特定非営利活動法人 あう国際文化交流センター(平成17年6月7日)/特定非営利活動法人 NPO法人三重成年後見サポートセンター(平成17年6月20日)/特定非営利活動法人 なばり総合型地域スポーツクラブ(平成17年6月28日)/特定非営利活動法人 四日市・子ども発達支援センター(平成17年7月1日)/特定非営利活動法人 緑輝く街づくり協会(平成17年7月4日)/特定非営利活動法人 障害者支援グループピラミッド(平成17年7月8日) (平成17年6月15日~平成17年7月14日届出分)

情報をお寄せください。市民がつくる市民活動の情報です。
ホームページ版、朗読テープ版もあります。お気軽にお問い合わせください。



「CSR」とは、企業も社会の一員として、さまざまな角度から、地域社会などに対し、責任ある行動を取ろうという考え方です。

火災共済誕生50周年記念事業「熊野古道」チョボラ美化ウォーク 全労済三重県本部

全労済は、消費生活協同組合法に基づき厚生労働省の認可を受け、非営利で共済事業を営む保障の生協の連合会です。

共済とは組合員相互の助け合いのことで、その事業内容は、生命の危険や住宅災害、交通事故など私たちの生活を脅かす様々な危険に対し、組合員相互の助け合いを保障のしくみを使って行う保障事業です。

労働者自らが自主的に福祉活動の主体となり、自らの資金と組織の力によって生活上の問題を解決していこうという「労働者福祉運動」の一環として、労働組合が中心となって共済活動が始まり、1954年11月に大阪で火災共済による共済運動が産声をあげ、本年度で50年を迎えました。

この「火災共済誕生50周年」を記念して、これまで事業と運動を支えていただいた協力団体や組合員のみなさんへの感謝と還元事業の一環として、全国各地で様々な記念事業やイベントを実施してきました。

一方、「熊野古道」は、2004年7月1日、中国蘇州市で開催されたユネスコの第28回世界遺産委員会において、日本から推薦されていた「紀伊山地の霊場と参詣道」が「文化遺産」として世界遺産登録されることが決定し、7月7日、正式に世界遺産リストに掲載されました。

ところが、世界遺産に登録されたことで古道への散策者が増加し、ゴミ等が散在しているということで、地域住民の方々による美化活動もおこなわれています。



そこで、全労済三重県本部としては、散策する側の立場でこの貴重な文化遺産である古道を実際に歩き、その大切さを再認識していただくとともに、三重県初の世界遺産を孫子の代まで守る社会貢献活動として美化活動を組み入れ社会的責任を果たすことを目的に、三重県労福協・連合三重ならびに各地区労福協・連合地協にご協賛いただきながら、協力団体や組合員のみなさんとともに2005年3月6日(日)に「チョボラ美化ウォーク」として実施しました。

当日は県下11地区から総勢430名余りの方々にご参加いただき、熊野古道散策の11コースに分かれ、コース毎にゴミの散在量に温度差はあったものの、参加者の皆様の積極的なご協力により非常に多くのゴミを回収することができ成功裡に終了することが出来ました。

また、現地ではマスコミ等からの取材もあり、三重テレビのニュースや地元の吉野熊野新聞や紀勢新聞などでも紹介していただくことができました。

全労済では、これまでも社会貢献事業の一環として、環境問題に関する活動への「助成事業」や高齢化社会に対する活動として「介護サービス事業」や「ホームヘルパー(2級課程)養成研修講座」なども展開しており、今後もこうした活動を引き続き展開していく予定です。

E-mail mannaka@m4.cty-net.ne.jp
(開局日:月~金AM10:00~PM5:00)

イベントスケジュール



【四日市まんなか子ども劇場より】 引き出そう!表現する力、小学生・朗読ワークショップ

●とき/7月30日(土)PM2:00~PM4:00、8月27日(土)AM10:00~正午、10月8日(土)AM10:00~正午、11月5日(土)AM10:00~正午、11月17日(木)PM6:30~PM8:30、12月10日(土)時間未定、12月11日(日)舞台発表

●ところ/未定

●参加費/一般21750円、会員15750円

●内容/大きな声を出すことで脳の前頭葉を刺激し、情緒が安定し、創造力が豊かになります。また、大きな声を出すためにはお腹に力を入れて背筋をピンとしなくてはいけないので、姿勢が正しくなります。講師は飛鳥井かづりさん。詳細はお問い合わせを。

親子の遊び場「キッズプレイルーム」

●とき/毎週月・火・木曜 AM10:30~PM12:30

●ところ/みんなの居場所きらり(四日市まんなか子ども劇場事務所隣)

大型紙芝居グループ・かみふうせん

●とき/第1火曜 AM10:30~PM12:30

●ところ/みんなの居場所きらり

●内容/大型紙芝居・パネルシアターなどをつくり、子どもたちに見てもらおう活動です。一緒につくったり、紙芝居をしたい方を募集しています。

読みがたり親子絵本の広場

●とき/第2火曜 AM11:00~

●ところ/みんなの居場所きらり ●参加費/一家族300円

夏休み科学教室ソーラーメタルカーをつくろう

●とき/8月20日(土)PM1:30~PM3:30

●ところ/四日市まんなか子ども劇場事務所

●参加費/一般4000円、会員3500円

●内容/対象は小学生以上。20人程度です。

●申込・問い合わせ先/四日市市西町15-16 四日市まんなか子ども劇場 Tel.&Fax.0593-51-6670

ソーラーカーレース鈴鹿2005

●とき/8月5日(金)~7日(日)

●ところ/鈴鹿サーキット 国際レーシングコース

●参加費/無料(鈴鹿サーキットランドへの入園料が別途必要)

●内容/世界最高レベルのこの大会では、時速150キロに迫るソーラーカーも参加します。動力は、京都議定書の発効で今再び注目を集めているクリーンエネルギー、ソーラーパワーのみ。工業高校、高専など若者の手づくりによるソーラーカーも多く、まさに“ものづくりの甲子園”とも呼べる大会です。熱い戦いを応援しながら、環境・エネルギー問題を考えてみませんか?小・中学生を対象に、エネルギーを楽しく学べる科学実験・工作教室や夏休みの自由研究相談所も同時開催(無料)。

●問い合わせ先/読売新聞東京本社スポーツ事業部

Tel.03-5159-5880

ホームページ <http://event.yomiuri.co.jp/2005/solarcar/>

●主催/読売新聞社、鈴鹿サーキットランド、日本自動車連盟



子どもゆめ基金(独立行政法人国立オリンピック記念青少年総合センター)助成活動

「世界も直接見る!聞く!触れる!」

●とき/【第2回】8月6日(土)、【第3回】8月28日(日)

●参加費/無料

【第2回「Vamos(ヴァーモス)brincar(ブリンカール)!ブラジルの遊びを体験しよう!」

●ところ/ときわ文化センター3階ホール(四日市市松本3-9-6本屋「メリーゴーランド」3階 Tel.0593-51-0006)

ブラジルのことについてお話を聞いたあと、カポエイラやアシェーを踊ります。動きやすい格好で来てね!ブラジルのお茶やお菓子の試食もあるよ!講師はJICA日系社会青年ボランティアOGの福永純子さん(第3回「ポップコーンから世界を知ろう」)

●ところ/アスト津3階 交流スペース(津市羽所町700 Tel.059-222-5995)

みんな大好きなポップコーンづくりから、“とうもろこし”のふるさとを訪ねてみませんか。マイカップを持ってきてね。講師は脇田智恵さんとESDin三重の石井りかさんです。

●募集人数/30人 ●申込方法/当日参加可
●主催・申込・問い合わせ先/NGOセンターみえ(担当:肥田) Tel.&Fax.059-231-7543 E-mail info@ngo-mie.org ホームページ <http://www.ngo-mie.org/>

第5回視覚障害者福祉機器展

●とき/8月7日(日) AM10:30~PM3:30
●ところ/アスト津アストプラザ5階「ギャラリー1・2」(津市羽所町700番地)
●内容/福祉機器の情報を広め、視覚障害者の日常生活の向上と自立を図り、社会参加の促進と福祉の増進を目的に開催します。当日は視覚障害者対応パソコン、拡大読書器、ルーペ、遮光眼鏡、単眼鏡、弱視補正レンズ、音声電卓、白杖、音声時計、強力ライト、点字器関連商品、プレクストーク、音声ガイド付き携帯電話、日常生活用具各種を展示します。
●主催・問い合わせ先/515-0056 松阪市宝塚町722 宮本治子方 視覚障害リハビリテーションネットワーク三重(REVIネット三重) Tel.0598-26-6327、Tel&Fax.0594-72-5469
●共催/特定非営利活動法人アイパートナー

第18回『自閉症の理解を求めて』講演会

●とき/8月18日(木) PM1:00開演~PM4:30
●ところ/三重県総合文化センター内フレンテみえ 多目的ホール
●参加費/無料(要参加申込)
●内容/自閉症の生徒を積極的に受け入れ、他の生徒と一緒に過ごすことで、互いの大きな成長を実践されている武蔵野東学園・武蔵野東教育センターの計野浩一郎さんをお迎えします。テーマは『個を見つめて』。
・第一部「~生活療法“Daily Life Therapy”を中心にして~」
・第二部「幼小期から大事にして欲しいこと」**就労を見据えて**
●主催・申し込み先・問い合わせ先/514-0818 津市城山3丁目9-20 社団法人日本自閉症協会三重県支部事務局(担当:横山美香) Tel.&Fax.059-234-9477

キッズシアター★夏休み特別企画 ユーリー・ノルシュテインの世界

●とき/8月20日(土)~23日(火)
AプログラムAM10:00~ BプログラムAM11:15~
●ところ/伊勢進富座
●参加費/1プログラム800円(大人・子ども同額)
●内容/「プロが選んだ「世界と日本のアニメーションベスト150」」において、監督作「霧の中のハリネズミ」が1位、「話の話」が2位に輝いたロシアのユーリー・ノルシュテイン。今回はその監督作を一挙に公開。Aプログラム(「霧の中のハリネズミ」など7作品)は子どもにぴったりの作品、Bプログラム(「話の話」など4作品)は大人向けとなっていますが、上映時間は長くありませんので、子どもでも十分楽しめると思います。
●申込・問い合わせ先/青春キネマ館&キッズシアター実行委員会 Tel.0596-23-0839(受付時間PM7:00~PM10:00)

草花デザイン展

●とき/8月20日(土) AM10:00~PM5:00
●ところ/NPO法人五十鈴塾右王舎(伊勢神宮おはらい町通り)
●参加費/全過程参加6500円(前売6000円)
●内容/当日は草花デザイン展・コンテストのほか、にしむらひろこさんによる講演「植物セラピーとアロマコロジー」、長畑実さんによる特別講演「植物と地球環境の現在と未来」を行います。ハーブティー&お菓子を楽しむ体験などもありますので、細かな参加費のことなどはお問い合わせを。
●応募締切/草花デザイン展出展参加は8月10日(水) 先着順
●申込・問い合わせ先/NPO法人植物セラピー普及協会 Tel.&Fax.0596-31-0887



講師のにしむらさん。

コラボ★ハンドメイドフリーマーケット

●とき/8月21日(日) AM9:00~PM3:00
●ところ/SATY津店 マクドナルド前広場
●内容/県内で活動している(OneDayShop)3グルー

プの合同イベント。参加グループは河芸町で活動するToy'sBox、四日市市のペパンドゥラボム、津市のyuimall。木工、布小物、ワイヤー細工、ビーズ、フェルト、石鹸など。他にもお楽しみ企画あり!!目玉は雑貨手作り体験コーナーです。

●主催・問い合わせ先/Honeyドロップス
ホームページ <http://honeydrops.bo.jp>

子ども科学体験教室

●とき/8月28日(日) AM10:00~PM4:00
●ところ/鈴鹿山麓リサーチパーク(四日市市)
●内容/科学技術振興センターでは、楽しい科学実験を通じて、子どもたちに科学への興味を育ててもらえるよう、「子ども科学体験教室」を開催!くわしくはホームページをご覧ください。
●申込・問い合わせ先/科学技術振興センター総合企画部 Tel.0593-29-3620
ホームページ <http://www.mpstpc.pref.mie.jp/>

「心の教育」三重講演会

親が変われば子どもが変わる

●とき/9月4日(日) PM1:00受付 PM1:30~PM3:00
●ところ/三重県総合文化センター内フレンテみえ多目的ホール
●参加費/1000円(託児無料、事前要予約)
●内容/心で何かを思うと、エネルギーが循環します。人の幸せや感謝の思いを持つとよいエネルギーが回転し、反対に怒りやぐちる思いなどを持つと悪いエネルギーが流れます。家庭、学校、職場などでプラスのエネルギーを回転させる正しい心のあり方、胎教、育児の具体的な方法など、実体験を交えての楽しい講演会です。育児などで困っているお母様、家庭や職場の人間関係に悩んでいる方、肝っ玉母さんのような教育評論家、北村弥枝さんの講演を聴いて、心をリフレッシュさせましょう。
●申込・問い合わせ先/大西 Tel.&Fax.059-224-6407
●主催/教育研究会未来

三重県難病相談支援センター設立記念講演会

●とき/9月4日(日) PM1:00~PM4:00
●ところ/津庁舎6階大会議室(津市桜橋3丁目446-34)
●内容/三重県では、難病の方々の日常生活における様々な相談や地域交流活動を行う拠点施設として、平成17年4月に「三重県難病相談支援センター」を設置しました。「新しい時代の公」として、難病の方々がセンターの企画段階から参加し、同じ病気の様々な問題について、同じ立場で一緒に考え、問題解決のお手伝いをしています。一人だけ、家族だけで悩まないで、どうぞご相談ください。今回行う設立記念講演会では、三重大学医学部付属病院神経内科教授、葛原茂樹さんを講師に招き、「難病患者を地域で支えるには」~難病相談支援センターに期待すること~(仮題)というテーマでお話いただきます。またこの他、みんなの体操、難病相談会、難病相談支援センター内の見学を予定しています。
●相談・問い合わせ先/津市桜橋3丁目446-34 難病相談支援センター Tel.059-223-5035 Fax.059-223-5064

ネットワークのよびかけ

プロジェクター等の機材貸出のご案内

特定非営利活動法人三重県マンション管理組合連合会では、四日市市民活動ファンドの助成を受け、「プロジェクター」とその関連物品を購入いたしました。私どもでは、これを私どもだけではなく、NPO活動やそれに準じた活動をしている皆様方に広く利用していただくこと、これらの機材を安い金額でレンタルを行うことにいたしました。気軽に借りていただけるように「動産保険」にも加入し、落下損傷や盗難などの万一の事故にも対応しています。

- 貸出機材と料金/
(1)プロジェクターセット1日1回(5時間以内の利用)2000円
(2)スピーカーセット1日1回500円
(3)ノートパソコン1日1回1000円
●貸出団体/NPO法人、学童保育所、その他非営利団体で当方が認める団体。文化芸術団体でも非営利であれば可能。
●予約方法 /電話にて受付。前月の1日に次月の予約開始。ただし、8月のみ7月20日より受け付け開始。
●問い合わせ先/510-0074 四日市市大宮町26-27

県産認証材「三重の木」で家を建てよう！！

～一戸あたり36万円の補助金申請を受付中～

消費者の皆様が、安心して三重県内の森林で育成された木材(以下「県産材」)を選択し使用できるように、県産材証明と明確な品質を提示する「三重の木」認証制度がスタートしました。認証された「三重の木」には製材品毎にラベルが貼ってあります。また、住宅を建設する際、柱、土台、梁などの対象となる木材のうち、認証材「三重の木」を材積率で50%以上使用した木造住宅に対して1棟あたり36万円を交付する補助金(200戸分)も受付けています。詳細については、ホームページをご覧ください。



●問い合わせ先/環境森林部森林振興室 Tel.059-224-2565 Fax.059-224-2070
ホームページ <http://www.eco.pref.mie.jp/kouhou/kyou/200505250946491100/index.htm>

文化庁委嘱・伝統文化活性化協会事業

集まれ！ちびっこ体験塾

「暮らしっく日本」をテーマに活動している五十鈴塾では、日本のお米文化、食生活についても一度見直そうと、小学生の団体(15～25人)を対象に、ちびっこ体験塾を開催します。内容は(1)おくどさんでのご飯炊き体験。(2)七輪を使っての干物焼き体験。(3)おみそ汁、おにぎりづくり。今ではめったにできない体験です。

- とき/平成18年3月まで。予約制。 ●参加費/無料
- ところ/五十鈴塾石王舎(伊勢神宮おはらい町)
- 問い合わせ先/五十鈴塾(事務局:東雲、小林) Tel.0596-20-8251

愛ある文字がここをつなぐ！！

平成17年度要約筆記養成講座受講生募集

要約筆記は、発言者の話をその場で文字にしていきます。しかし、話し言葉は、文字を書くスピードよりはるかに速いため、内容を要約しながら書きます。このことから『要約筆記』と呼ばれるのです。多人数の場合は、OHPという機器を使って文字を拡大投影しながら、少人数の時は横に座りノートに書きます。中途失聴者にとって、使い慣れた言葉で伝えることから、便利で大切なコミュニケーション手段です。聴覚にハンディを持って、それまでと同様に自由に社会参加できる社会であって欲しいと願いながら活動を続けています。一般的に要約筆記は、複数の人が交代しながら書くことが多く、たくさんの活動者が求められています。また要約筆記活動は、特別な技能を習得する必要も少ないことから、初心者の方にも始めやすい活動だと思えます。

- とき/【基礎講座】平成17年9月3・11・17日、10月23日、11月12・19日
- 【応用講座】平成18年1月14・29日、2月4・18日
- ところ/県人権センター(津市一身田大古曾693-1)
- 参加費/受講料無料(テキスト代自己負担、2000円程度)
- 応募締切/8月10日(消印有効)
- 申込・問い合わせ先/514-0003 津市桜橋2-131 三重県社会福祉会館4階 社団法人三重県聴覚障害者協会 Tel.059-229-8540 Fax.059-223-4330

企画のコツを学ぶ「プランナーズ」参加募集

企画の立て方やイベント運営のコツを覚えて、学校や職場、街づくりで生かしてください。企画力は、これから就職する学生にも、若手サラリーマンにも求められています。只今、企画力を身につける「プランナーズ」の2005年度メンバーを募集中です。今年は、音楽イベント、広報紙制作、街づくり事業などを予定。興味のある分野だけに関わることも可能。初心者、歓迎。昨年は102名が集まり、商店街の25周年事業を大成功させました。本年度は、津・松阪・伊勢の学生(または在住の方)を特に募集中。参加するかどうかを判断してもらうための内容説明会を実施します。

- とき/8月下旬を予定 ●参加費/無料
- ところ/松阪市駅前ベルホール(近代劇場跡)

●申込方法/「プランナーズ説明会参加希望」とご記入の上、「住所、氏名、電話番号、E-mail(携帯メール)、部門」を下記まで。改めて日程を連絡します。

- 参加対象/15～35才
- 募集部門/1・学生部門(高校生、専門学生、大学生) 2・社会人部門(街づくり企画に興味のある方) 3・その他部門(主婦など)
- 申込・問い合わせ先/515-0811 松阪市塚本町554-105号室 チャンネルM(プランナーズ事務局:米山) Tel.090-3385-6958 または 0598-22-0908 E-mail ch-m@m5.dion.ne.jp

ユニバーサルデザインアドバイザー養成講座

自分の持っているスキルを生かしたい人。ユニバーサルデザインについて知りたい人。まちづくりに関心のある人。建築や福祉の仕事、勉強をしている人。自分の可能性を追求したい人。バリアフリー住宅に関心のある人。とにかく、人と話をするのが好きな人。そんな人を募集します。講座内容はユニバーサルデザイン概論、条例・整備基準、高齢者の基礎知識、障害者の基礎知識、多文化共生づくり、子育て支援、男女共同参画社会、人権、ワークショップほか。全講座受講者には三重県より修了証書をお渡しします。1講座のみの受講も可能です。詳細はホームページを。

- とき/9月14・24日、10月1・8・15・22・29日(毎週土曜日) PM1:15～PM5:00 22日のみAM9:30～PM4:30
- ところ/名張市美旗市民センター2階中会議室(518-0616 名張市美旗町南西原229-3 Tel.0595-65-3007)
- 参加費/無料
- 募集人数/25人(要申込)
- 問い合わせ先/518-0823 伊賀市四十九町1278-26 総合事務局(担当:孫) Tel.&Fax.0595-23-9513 ホームページ <http://www.doumu.net>
- 主催/NPOバリアフリースタジオ「同夢」、三重県

助成金 ニュース

三重ボランティア基金助成

- 受付締切/9月26日(月)消印有効
- 助成の対象となる団体/現在、県内各市町村社会福祉協議会にボランティア団体として登録され、福祉の向上を目的とした活動が計画的・継続的に行われ、地域の高齢者や障害者・児童等に対する支援を行っている団体。
- 助成の額/(1)ボランティア団体基盤強化助成…福祉活動を目的としたボランティアグループの活動の基盤強化を図るための助成で、器材・器具のみの助成(1団体1回のみ)。1団体 300千円以内。
- 応募方法/申請書は、市町村社会福祉協議会または事務局に設置。提出は市町村社会福祉協議会。
- 問い合わせ先/財団法人三重ボランティア基金事務局(担当:平井) 津市桜橋2丁目131番地 Tel.059-227-9994

(財)庭野平和財団 活動助成(後期分)

- 受付期間/7月1日(金)～8月13日(土)必着
- 助成の対象となる団体・個人/個人・団体のいずれでも申請できます。(一個人、一団体につき一件の申請に限ります)申請者の国籍、団体の場合の法人格の有無は問いませんが、持続性のあることを原則とします。
- 助成の対象となる活動/宗教的精神に基づく社会・平和活動、地域のエンパワーメントを創生する活動。
- 助成の額/1件あたり上限100万円。
- 応募方法/申請する事業の内容が「活動」であることを明記し、あわせて住所、氏名、職業(職場・研究所などまで詳しく)、電話番号を明記し、官製ハガキ、書簡、Fax、E-mailのいずれかで申請書類を請求するか、ホームページからダウンロード。申請は必ず書留にて送付し、返送用切手200円を同封。
- 問い合わせ先/(財)庭野平和財団助成係 166-0022 東京都新宿区新宿1-16-9シャンヴェイラ・カテリーナ5階 Tel.03-3226-4372 Fax.03-3226-1835 E-mail program@npf.or.jp ホームページ <http://www.npf.or.jp/>

日本財団アジア・フェローシップ(APIフェローシップ)

- 受付締切/8月31日(水)
- 活動テーマ/1.アイデンティティの変容とその社会的・歴史的・文化的背景

2. 人類が直面する社会的課題と社会正義の考察

3. グローバル化の現状とその課題

●助成の対象／【APIシニア・フェローシップ】

応募締切日に40歳以上であること。

出身国・居住国以外の国で、研究・交流活動に従事できる能力と経験を有すること。

提案した研究・交流活動を、出身国・居住国以外のAPI参加国で行うこと。

提案した研究・交流活動を、1～12ヶ月の間、継続して行うこと。但し、活動国が複数ある場合は、1ヶ国に最低1ヶ月以上継続して滞在しなければならない。

APIフェローシップの研究・交流活動の成果を広く社会に還元する能力・影響力・手段を有すること。

【APIフェローシップ】

応募締切日に40歳未満であること(例外を認めることがあります)。

出身国・居住国以外のAPI参加国で、提案した研究・交流活動に取り組む能力と意欲を備えていること。

将来、その専門分野において大きな貢献のできる可能性を有すること。

提案した研究・交流活動を、4～12ヶ月の間、継続して行うこと。但し、活動国が複数ある場合は、1ヶ国に最低1ヶ月以上継続して滞在しなければならない。

提案した研究・交流活動は、出身国・居住国以外のAPI参加国のうち1カ国または2カ国で行うこと。

●応募方法／募集は5カ国で行われています。申請書などはホームページからダウンロードして使用し、必要書類と合わせて郵送するか、オンラインで応募。応募方法の詳細はホームページを参照してください。

●問い合わせ先／京都大学東南アジア研究所 606-8501 京都市左京区吉田下阿達町46 Tel.075-753-7348・7391

Fax.075-753-7350 E-mail api-ml@cseas.kyoto-u.ac.jp

ホームページ http://www.cseas.kyoto-u.ac.jp/api/

(財)大和証券福祉財団助成

●受付期間／8月1日(月)～9月15日(木)消印有効

【ボランティア活動】

●助成の対象となる団体／ボランティア活動を目的とした団体・グループ。社会福祉協議会・共同募金会などの推薦が必要。

●助成の対象となる活動／特に在宅老人、障害児・者、児童問題などに対するボランティア。

●対象事業の期間／原則として平成18年1月～12月の活動

●助成の額／1件あたり上限30万円。総額5000万円(内500万円は災害時ボランティア活動に対する助成)

【ボランティア活動等に関する調査研究助成】

●助成の対象となる団体／研究委員会を組織すること。

●助成の対象となる研究／ボランティア活動・地域福祉に係る実践的モデル事業開発に関する研究など。

●助成の額／上限100万円。3件まで

●応募方法／用紙の申請は電話、Faxまたはホームページからダウンロード。

●問い合わせ先／(財)大和証券福祉財団 103-8219 東京都中央区日本橋茅場町1-1-9 大和証券兜町ビル Tel.03-3665-5147

Fax.03-3662-0495

Fax.03-3662-0495 ホームページ http://www.daiwa.jp/branding/kouken/dsf.html

助成財団センターは、助成、表彰、奨学などを行う財団法人・その他の法人などの情報を収集し、活動内容を広く社会に発信していくことを主な目的としています。その情報は冊子で刊行されているほか、ホームページやファクシミリサービスでも閲覧できます。

(財)助成財団センター Tel.03-3350-1857 Fax.03-3350-1858
ホームページ http://www.jfc.or.jp/



桑名市

特定非営利活動法人 みえきた市民活動センター

511-0068 桑名市田町33 Tel.0594-27-2700

E-mail miekita@mie-kita.gr.jp ホームページ http://www.mie-kita.gr.jp/

桑員環境サミット

「本当のことを知りたい～みんなで「環境」の話をしようよ～

この6月18日、桑名の七里の渡しの近くにある六華苑の和館で、桑員環境サミットが開かれました。ここでは、環境に関する身近な7つのテーマについて、参加者の素朴な疑問・質問に、複数のゲストが応えるという分科会がありました。テーマは、「ごみ減量」「エコライフ」「地域の自然と暮らし」「いきものにやさしい生活排水」「暮らし方」「自然の中での遊び」「マツタケ山」...それほどむずかしい感じはありません。

じはありません。

おもしろかったのは、ひとりの専門家がボンと応えてそれで終わりというのではなく、複数の人たちがいろいろな考え方を示し、参加した人たちがいろいろと意見のやりとりしながら、それぞれが自分で選択し判断する材料がたくさん提供された場だったということです。確かに、自分の暮らし方と環境との距離をどうとるか、答えはいろいろあります。参加者自身が話し合うことで、出てくるアイデアも、専門家任せではないいろいろなものがあふれてきたの

だろうと思います。

分科会毎に、10～15人ほどが畳の上で机を囲んで車座に坐り、複数のゲストとやりとりするというのは、コスト面で考えても、たいへんぜいたくな設定です。1人の講師が話をし、参加者から2、3の質問を受けるという講義形式と較べてみれば、時間もずいぶんかかります。それでも、このやり方がこれから増えていくのではないかと感じました。

主催した方のお話によると、専門知識を深く進める10人の10歩ではなく、ふつうの人がふつうの感覚で感じた疑問や意見を話し合うことから生まれる100人の1歩をめざしましたとのこと。トップダウンの講義形式は答えが明快なときは効率的な伝達方法ですが、今回のように「一人ひとり、みんなが主役」というときには、ひとりひとりにとって創造的な意見交換の場をつくるのがよいなあと感じたのです。市民が主役という、市民活動の現場のおおもとを見せてもらったような気がしています。

鈴鹿市

特定非営利活動法人市民ネットワークすずかのぶどう

鈴鹿市白子駅前18-15 Tel.&Fax.0593-87-0767

E-mail budou@mecha.ne.jp ホームページ http://www.budou.gr.jp

お陰さまで無事オープンしました。

すずかのぶどう多機能ショップ「B-チャレンジ in 白子」を無事オープンすることができました。ご協力ありがとうございました。これからもよろしくお願ひします。 運営: すずかのぶどう

2005しろう夏祭り

7月30日(土)、31日(日)しろう夏祭り:すずかフェスティバル白子会場をかね、屋台村・ゲームコーナー・ながしソーメンなど盛大です。しろう夏祭り2005実行委員会事務局 すずかのぶどう

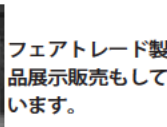
第5回夏の鈴鹿川体験イベント

日時:平成17年8月21日(日) 場所:鈴鹿川河川緑地公園(鈴鹿市庄野町～弓削町)

親子での参加・ボランティア参加などお問い合わせは「夏の鈴鹿川体験」実行委員会 鈴鹿川歩き係 すずかのぶどう TEL./FAX:0593-87-0767 E-mail:budou@mecha.ne.jp



入り口。



フェアトレード製品展示販売もしています。



パソコンミニ講習コーナー。



フェアトレードコーヒーやハーブティなどの喫茶コーナー。



▶▶▶▶▶ **がんばれネットワーク** ▶▶▶▶▶

三重県内の市民活動団体の人をリレーで紹介していきます。但し、紹介するに当たってはルールがあります。1・同じ地域で無いこと。2・同じ活動分野で無いこと。さてどんな人がどんなふうに、つながっているのでしょうか。鳥羽にあるめだかの学校校長、谷口仙二さんからバトンが渡ったのは、伊勢志摩バリアフリーツアーセンター局長の野口あゆみさん。野口さんが市民活動を始めたきっかけは、なんと「恋」だったのです!

恋から生まれた冊子「おでかけチェアウォーカー」

……市民活動を始めるきっかけは?

2000年の春頃に、今の夫である車椅子使用者に出会ったのがきっかけです。当時、私は姉が経営していたワインバーを手伝っていたのですが、そこにたまたま訪れたのが彼でした。真っ赤な車椅子を使用していた彼はとても目を引いて、しかも空いている場所を探すのもすべて自分でやっていたのです。それまで私は車椅子使用者=介助が必要とか、高齢者の方というイメージだったので、それを覆された気持ちでした。小さなお店でしたのでお客様の会話が私にも聞こえてくるのですが、その話が「三途の川を渡った」だの、「趣味でいろんなことをしている」だの、興味津々の内容で(笑)。お料理を出すついでにちょこちょこ話をするうちに、彼に興味を持つようになりました。

……車椅子使用者として興味を?

最初から障害を持っている人という風には感じませんでした。趣味でレーシングカートをやっていたりとか、どん欲にいろんなことをしているのが面白かったんです。それでデートに誘いました。「昔、タウン誌の編集をしていたから、バリアフリーのお店も知っているよ」って(笑)。

……実際、お店には詳しくったのですか?

それが行くお店、行くお店、段差があって、あちこち回っているうちにランチタイムも過ぎて、結局、食事も取れなかったんです。私は自分の株を上げるつもりで誘ったのに、逆に落ちてしまっただけでした。このことがすごくショックで、これはリベンジしなくちゃ。

……介助しても入れなかったのですか?

一人では無理でした。今なら周りの人に「手伝ってください」と言えますけど、それに段差がある=入れないと、私が思いこんでいました。……リベンジとは?

実際にお店を見ないとわからないと思ったので、一人でお店を回って、段差を計ったりしました。そうしているうちに、この情報を欲しいと思う人は他にもいるかもしれないと感じ、現在、伊勢志摩NP Oネットワークの会の事務局をしている森本かおりさんに相談したところ「それは本にすべきだ!」とそそのかされて、「おでかけチェアウォーカー」という冊子を2001年の春に発行しました。

……情報発信を考えたのが凄いですね。

情報発信のほかに、もう一つ思惑があったんです。実は私、その時には彼に好意を抱いていたので、冊子作りを口実にいろいろ話を

聞いたり、会ったりできるかなと(笑)。車椅子使用者の人が普段、どんな生活をしているか、私はまったく知りませんでしたから、冊子作りに必要な話を聞きつつ、彼の生活や好みも根ほり葉ほり聞いて…。半分は仕事で、半分は自分の頭の中に入れて(笑)。編集メンバーは、私に利用されているなど薄々は感じていたようです(笑)。そのうちに、お付き合いすることになって…。

……積極的ですね。お相手はどう感じていたのでしょうか?

本人に聞かないとわからないです(笑)。

……好意があるからこそ、聞き難い話もあったと思いますが? 普通ならトイレ介助の事など、異性に話すのは嫌がりますよね。でも、彼は自分のことを知ってほしいのか、トイレ介助や車椅子使用者になるきっかけの事故の話など、話しにくいことも教えてくれました。それが私にとっても良かったと思います。質問をして、「なぜ、そんなことを聴くの?」と切り返されていたら、おそらく私はそれ以上、彼に踏み込めなかったでしょう。話を聞きやすい彼の人があったから、冊子も作ることができたんだと思います。

伊勢志摩バリアフリーツアーセンター

……伊勢志摩バリアフリーツアーセンター(以下、センターと略)とは? 伊勢志摩観光を考えている障害者や高齢者のご相談に応じて、アドバイスをしながらお客様に合った宿や観光スポットをご紹介します。

……センターが作られた経緯は?

2001年の4月に伊勢志摩再生プロジェクトという事業が発足し、メンバーの一人だった元鳥羽水族館副館長の中村元さんが伊勢志摩の観光を再生させるために、バリアフリーを広めて行こうと提案したそうです。最初は誰も納得してくれなかったそうですが、1年ほどかけて説得し、私のところに「バリアフリーツアーセンターを作りたので…」とお話が来ました。私も伊勢志摩の観光業者の方がバリアフリー情報の発信に力を入れてくれないかと思っていました。

……なぜ、バリアフリー情報の発信の必要性を感じたのですか? 「おでかけチェアウォーカー」は観光客にも使ってもらえるんじゃないか?とと思っていたことと、夫と一緒に、毎年神戸で催されている車椅子テニス全国大会を訪れたのがきっかけです。神戸での宿を私が調べたのですが、インターネットや旅行雑誌を見てもバリアフリーの宿が見つけれなかったんです。それでホテルの入口の写真を頼りに車椅子でも入れそうな所をピックアップして、直接電話を試みました。10軒電話した中で、2軒、バリアフリールームがありました。それで伊勢志摩も同じ状況ではと調べてみたら、やはりバリアフリールームがあっても情報は発信されていなかったのです。

……情報発信しない理由は?

スロープやエレベーターを求める要望や苦情が来るんじゃないかと、腰がひけていたようです。それで、お客様の要望を直接聞き、それをかみくだいて旅館に伝える場があればいいんじゃないかと思いました。

……情報発信だけではなく、アドバイスもするのですか?

情報発信だけでなくホームページでも良く、センターでスタッフが対応する必要はありません。実際、ホームページを見て、伊勢志摩を訪れてくださる方もたくさんいらっしゃるのですが、できれば電話をして欲しいと思っています。私たちはお客様一人ひとりに応じたアドバイスを行うパーソナルバリアフリー基準というのを作り、お客様がどこに行きたいのか、またそこに行くためにはどの程度まで努力するつもりがあるのかまで聞かせてもらって、アドバイスをしています。

伊勢志摩バリアフリーツアーセンター局長

野口あゆみ さん 聞く

……お客様の努力とは？

私たちはお客様が行ける所を探すのではなく、行きたい所に行けるようにしようをモットーにしています。自分がどこに行きたいのかを決めてもらえば、どうすれば行けるのかアドバイスできますし、そのための方法も考えられます。ですからバリアフリーの情報より、「段差がありますけど、差は小さいから車椅子でもがんばれば行けますよ」とか、バリアの情報を伝えることが大切ですし、お客様にも努力してもらう必要が出てきます。

お客様が行ける所を探すのではなく、行きたい所に行けるようにしよう。

……努力してまで来たいと思ってもらわなくてはいけませんね。

伊勢志摩はバリアフリーだから来てくださいと宣伝するのは、本末転倒だと思うんです。伊勢志摩の魅力を前面に出して、バリアフリーにも力を入れていると言わなくては、もう一度来たいとは思ってもらえません。バリアフリーだから伊勢志摩に来た人が見れば、バリアフリーで無い部分が目につくと思います。でも、伊勢志摩に来たいと思ってくれた人なら、見方は全然違うでしょう。努力しても行きたい魅力が伊勢志摩にあれば、ちょっと苦労しても充実感を味わってもらえますから。

……お客様は直接センターに来られるのですか？

問い合わせは電話かメールがほとんどですから、直接来られることはまずありません。電話でやり取りした方が、こちらに来られた時に立ち寄ってくださることはありますけど…。

……月に何件ぐらい問い合わせがありますか？

電話の回数は月100件ほどですが、同じ方と何度もやり取りすることが多いので…。まず最初の電話でお客様の要望を聞いた後、それに合った宿や観光スポットの資料を郵送します。資料が届いた頃にまた連絡をして、少なくとも2~3回はやり取りします。

……お客様の状況を聞き出すノウハウは？

一番大切なのはこちらも心を開くこと。そして、なぜその質問が必要なのか、明確に伝えることです。私たちは車椅子の種類や状態までこと細かに聞きますので、きちんと説明しないと誤解されてしまいます。でも、そこまで聞かなければアドバイスはできません。あとは、こちらに障害に対する知識や経験があることを伝えること。例えば「車椅子は電動ですか？手動ですか？」などと質問すると、お客様も「この人は結構詳しいな、相談してみよう」と思ってくれますし、私の夫が車椅子使用者であることを話すと、よろず相談したいにもなりますよ。その結果、1回の電話に掛かる時間が、結構長くなってしまいうんです(苦笑)。

……障害の種類もいろいろありますから、覚えることが多いのでは？経験あるのみです。センターを始めた当初は、私も障害に対してあまり知識がなかったの、お客様からいろいろ学んでいます。学んだことを次に同じような障害を持った方が相談に来た時に生かす。

……宿の方とはどのようなやり取りをしているのですか？

私たちが聞いたお客様の情報をおおまかにお話して、どのような対応をして欲しいのか、理由を添えて伝えています。例えば「車椅子使用者の方は高い所に手が届かないので、タオルやリモコンはベッドの上に置いてください」とか…。実際、お客様もそういったちょっとした配慮を喜ばれます。

……その他、宿に対して行っていることは？

バリアフリールームを作る際にアドバイスをしました。これまでのバリアフリールームは殺風景で実用重視の物が多かったの、ざらげない所にバリアフリーが隠されている部屋を目指しました。3年前にある宿が作ってくださったバリアフリールームは今では一番の人気らしいです。私も一



「おでかけチェアウォーカー」取材の様子です。

緒に旅行に来る家族のことも考えた部屋を作って欲しいと伝えました。というのは、夫と旅行に行った時に、実用重視の部屋に通されると興奮して、夫婦で旅行に来たのではなく、私は介助者なんだって思ってしまうんですよ。旅行は非日常ですから、気分が冷めてしまうような部屋は旅行者にとって一番罪ですよ。

……バリアフリールームを作る宿は増えていますか？

お金がかかることですから次々とというわけではありませんが、増えてきています。

……お客様の声を直接伝えることもありますか？

旅行後にお客様からいただいた意見は良いことも、悪いことも伝えるようにしています。対応が悪かったという話を伝えるのは難しいですけど、今後の対応を考えてもらうためには必要ですから。

広がっていくニーズに 대응して…

……センターの運営費は？

再生プロジェクトの補助金が昨年で終わりましたので、今はバリアフリーの観光情報と発信、調査以外に事業を作り、その委託金を利用しています。お客様から料金をいただくのは難しいので、今後は旅行代理店に情報を提供する際に料金をいただくとか、会員制度にするなど、経営が成り立つ仕組みを作らなくてはと考えています。お客様も増えていますから、止めることは考えていません。

……継続に必要なことは？

リピーターを増やすことですね。センターがあつて良かったと思うのは、お客様のニーズや意見がダイレクトに伝わってくる。苦情を聞いたら、徐々にでも改善していくことが必要です。また訪れてくださった時に、その部分が直っていたら、自分の声が届いたと感じて、リピーターになってくださると思うんです。センターにしてもバリアフリールームにしても、せっかくお金をかけて作った物ですから、経営が成り立たずに止めてしまったのでは無駄になってしまいます。また、そのためには意見をくださった方たちに責任を持って利用してもらうことも必要です。

……今後、どのような事業を考えていますか？

センターを開いてから、お客様のニーズがどんどん進化しているのを感じています。今、センターでは「どこでもチェア」という名前で車椅子を無料貸出していますが、これも「車椅子をレンタカー感覚で貸出できないか」というお客様の声から生まれた物です。今考えているのは伊勢神宮の介助ボランティアのシステムを作ること、旅館への介助ヘルパーの派遣です。これらの要望が出てきたのは、旅行に来る層が広がったからだだと思います。今までは旅行に出ることを考えなかった層の人たちが来てくれている。「おでかけチェアウォーカー」を作った時は重度の障害を持つ方に「自分たちには使えない」と言われたのですが、まずは利用できる人から使ってもらって、少しずつ改善し、広げていくことが大切だし、今広がっていると嬉しいですね。それによって、どんどん思いもよらなかったニーズが出てくるんじゃないかと思っています。

伊勢志摩バリアフリーツアーセンター

住所/517-0011 鳥羽市鳥羽1-2383-13鳥羽一番街1階

Tel.0599-21-0550 Fax.0599-21-0585

E-mail iseshima@barifuri.com

ホームページ <http://www.barifuri.com/>

開局時間/AM9:00~PM5:30 休業/木曜

野口あゆみさんはこの人を紹介します。

橋本隆夫さん

明和町を拠点にさまざまな市民活動のキーパーソンとして活動しています。

お
ね
が
い

市民活動・ボランティアにユースに情報を提供される際、以下のことにご注意ください。

(1) 原稿はにユースにそのまま掲載できる状態にして、毎月15日までに送ってください。

(2) 送付はE-mailもしくはFaxで。その際、「市民活動・ボランティアにユースへの掲載のお願い」と件名を明記してください。

Fax.059-222-5971 E-mail seiknp@pref.mie.jp
転載を希望される場合は必ずNPO室に連絡してください。